



日本電子機械工業会技術レポート

Technical Report of Electronic Industries Association of Japan

EIAJ ETR-7005

表面実装部品用バルクケースに関する調査報告書

**Report of investigation on bulk case for
surface mounting devices**

1997年6月制定

作 成

実装システム標準化委員会

Technical Standardization Committee on Surface Mounting Technology

発 行

社団法人 日本電子機械工業会
Electronic Industries Association of Japan

日本電子機械工業会技術レポート

表面実装部品用バルクケースに関する調査報告書

Report of investigation on bulk case for surface mounting devices

1.経緯 実装システム標準化委員会実装部品パッキンググループ傘下に、「大形バルクケースの規格」「バルクケース使用ガイドライン」制定を目的とした「表面実装用大形バルクケース P G」が 1997年1月に発足した。

現在表面実装部品(SMD)の供給形態はテーピングが主流であるが、産業廃棄物の削減、装着機の稼働率向上等の観点より、供給形態のバルク化は今後の方向として重要なテーマであることから関係各位の幅広い意見を聞く必要性を第1回の P G 会議に提案し了承された。

本報告書は、その提案に基づき2月に実施したアンケートの結果をまとめたものである。

2.目的 本調査の目的は「大形バルクケースの規格」、「バルクケース使用ガイドライン」への反映、および今後のバルクケースに関する規格化活動に資することである。

3.調査方法、結果のまとめ方、活用

3.1 調査項目 調査項目は大きく次の4点とし、セットメーカ、実装機メーカ、部品メーカ、ケースメーカ各々の立場で回答していただくこととした。

- (1) 現状把握(バルクケースへの対応状況)
- (2) バルクケースに対する意識調査(バルク化の長所、短所)
- (3) バルクケースへの要求事項(現在の E I A J ケース、提案の大形ケース)
- (4) ガイドラインへの要求事項

添付資料1にアンケート調査票を示す。

3.2 アンケート依頼先 アンケートは、実装システム標準化委員会委員および大形バルクケース P G 委員の所属会社合計53社宛に依頼し、27社48部門から回答をいただいた。

回答先の内訳は次の通りである。

セットメーカの立場:12社19部門 実装機メーカの立場:9社10部門
部品メーカの立場:12社16部門 ケースメーカの立場:3社3部門

添付資料2にアンケート依頼先一覧表を示す。

3.3 調査結果のまとめ方 調査結果を4.、5.にアンケート項目順に示している。

4.では、結果を回答者の立場別に比較できるようにグラフ化し意見の動向を把握できるようにした。

5.では、寄せられた意見・要望を全て掲載し詳細な内容が分かるようにした。ただし、意見は要約して掲載してある。

なお、6.に意見・要望を一覧表に集計して示し、今後の活動に反映し易いようにした。